

いずみさの教育NOW  
 人権教育の推進と充実に向けて  
 問合先  
 学校教育課

人権教育の推進と充実に向けて

本市では全ての学校で人権教育の取組を推進しています。なぜ、人権教育を学校で行うのでしょうか。人権について学ぶということは、自分や相手、全ての人に人権があることを理解し、お互いの人権を尊重した考え方や行動する力を育てるからです。お互いの権利を守りながら、自分の権利を正しく使えるようになることで、これからの社会をよりよく生きてほしいと願っています。

人権教育は、「人権教育及び啓発の推進に関する法律」のなかで、発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得できるようにすることと示されています。本市でも、すべての小・中学校で教育課程の中に人権教育を位置づけて取り組んでいます。人権尊重の精神は子どものころだけでなく、学校を卒業して大人になっても、生き方や考え方の基礎となるものです。「自分の気持ちを大切にし、安心して表現できること」「友だちの中で、お互いを思いやり、よりよく生きていこうとすること」「自分の周りにおける人権課題に気づき、行動できること」などを、授業のなかだけでなく、教育活動全体を通して、教職員が力

を合わせて育てていきます。取組を進める中で、特に大切にしていくことは、地域のみなさんとの出会いです。コロナ禍ではありますが、今年度もたくさん地域のみなさんに学校に来ていただいたり、仕事の様子や活動の様子を見学させていただくなどのご協力をお願いしています。その中で、自分の地域によさや大切に守られていることなどを感じ、人や地域を大切にする心を育てることができています。これらの経験と人権教育が結びつき、子どもたちの人権を尊重する精神の育成につながっています。

また、2022年は全国水平社の創立から100周年でした。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」で結ばれる水平社宣言には、人間同士が尊敬し合うことによつて差別のない世の中をめざそうというメッセージが込められています。これからの社会をよりよく生きていくために、今一度、このメッセージを受け止め、受け継いでいきたいと思えます。これからも、人権教育の推進と充実に向けていきますので、ご理解ご協力をお願いします。

学校園紹介



生徒会による校則見直しのとりくみ  
 ～新池中学校～

新池中学校では、生徒会による校則見直しのとりくみを進めてきました。生徒全員が参加した“オンラインミーティング”での意見交流やアンケート活動、“今ある校則守ろうキャンペーン”、全校集会での提案や訴えなど、昨年の7月から様々なとりくみを粘り強く展開してきました。また、活動開始から1年経った今年の7月に、とりくみの成果や校則改定案を伝えるため、生徒会のメンバーが校長室を訪れました。検討した結果、学校としては生徒の自主性を尊重し、生徒会から提案された4つの改定案を認めることになりました。

数日後のオンライン全校集会では、生徒会から新しい校則が発表され、生徒会長は全校生徒に向けて「校則の見直しを提案してから約1年間、とても時間がかかり、何度も高い壁にぶつかりましたが、みなさんの協力もあり、無事校則を改定することに成功しました。アンケートを何度も実施し、練りに練って自分たちで作上げた校則です。この校則改定を通して、変わらないだろうとあきらめてしまったことでも、みんなで力を合わせることで実現できるんだ、ということを実感しました。自分たちの学校を創るのは自分たちだ、ということも再確認することができました」と語りました。



この1年間真剣にとりくんできた生徒会の熱い思いは、生徒主体の学校づくりを大きく前進させる成果をもたらしました。

ICTをどう活用していくか  
 ～第三小学校～

大阪府教育委員会より「スマートスクール実現モデル校」として指定を受け、1人1台端末を有効活用した教育活動と情報活用能力育成のための指導の充実に努めています。

例えば、体育の授業で撮影した動画を活用して自分たちの動きを分析したり、社会の授業の中でグループで共同編集したJamboardを活用してスーパーマーケットの商品配列を考えたりと、様々な形でChromebookを学習活動に利用しています。6年生では「家族みんなの笑顔の間取り」をテーマに理想の間取りを創作し、間取りを立体的に見ることのできるソフトを使って、考えたことや工夫をしたことを交流し合ったりしました。ICT活用のスキル自体を伸ばすとともに、「ICTを使ってこれからの社会を生きていくためにどのような力をつけていくのか」へとステップアップを図っています。



また、本年度から「情報活用スキルルーブリック」を本格的に活用しています。授業の初めにあらかじめ到達目標を示しておいて、子どもたち自身が振り返りをしながら自己評価を行うものですが、子どもたちは情報活用スキルの一つひとつに自分の目標設定を明確にし、振り返りの後はすぐに次の目標を考えるようになってきました。今後もさらにICTの活用についてとりくみを進めていきたいと思えます。